

人に優しい 地域づくりをめぐって

全旅連 第16回 人に優しい地域の宿づくり賞

石川県の和倉温泉旅館協同組合は、各温泉地から選りすぐった温泉旅館を、2013年3月には若い女性に人気のファッションイベント「おとぎ話の国」の会場として、おとぎ話の国に登場するキャラクターをモチーフにした宿泊プランを企画し、好評を博した。この賞は、全旅連が主催する「人に優しい地域の宿づくり賞」の第16回大会で、和倉温泉旅館協同組合が栄冠を戴いた。

和倉温泉旅館協同組合の代表者は、「おとぎ話の国」の会場として、おとぎ話の国に登場するキャラクターをモチーフにした宿泊プランを企画し、好評を博した。この賞は、全旅連が主催する「人に優しい地域の宿づくり賞」の第16回大会で、和倉温泉旅館協同組合が栄冠を戴いた。

和倉温泉旅館協同組合 (優秀賞)

ホテル旅館 11月の倒産 6件、負債13億円

帝国データバンクは13年最少に

月	2012年		2013年	
	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)
1	14	10,577	4	6,350
2	9	13,554	9	10,119
3	9	5,962	12	12,793
4	8	2,926	8	4,565
5	7	5,811	16	7,140
6	8	6,398	6	4,155
7	10	1,577	9	2,094
8	10	13,991	8	1,715
9	9	7,380	5	5,640
10	14	7,376	9	3,035
11	3	344	6	1,315
12	8	2,505		
合計	109	78,401	92	58,921

帝国データバンクによりますと、2013年11月のホテル旅館経営者の倒産(負債1千万円以上の法的整理)は6件、負債総額は1億1500万円だった。件数は前月から3件減少(33・3%減)も、前年同月比では3件増加(100・0%増)増。負債総額は前月比で2千万円減少(56・7%減)となり、前年同月比では9億9千万円増加(13・8%増)した。

「スキー伝承101年」

新潟県湯沢町 冬のイベントPR

新潟県湯沢町(田村正 町長)と湯沢スキー協会が主催する「スキー伝承101年」を、12月11日(日)、湯沢町のスキー場で開催した。当日は、湯沢町民やスキー愛好者ら約1000人が参加し、スキーの歴史や湯沢町のスキーの発展を語り、スキーの楽しさを体験した。また、湯沢町のスキー場の魅力をPRした。

「本物のサービス・CSとは」

田中章俊 連載13

欺いたお客さまは戻ってこない。お店の看板を大切にしよう。(1)

賞味(消費)期限、原材料、産地の偽装。季節の果物は子供向き玩具のSTMマーク(安全マーク)の不正使用、新聞紙やテレビで度々取り上げられる「不祥事」だが、まもなく迎えられる「2014年」は、これまで以上に「もったいなく」に「おもてなし」を心がける必要がある。多く異なるが私たちが経験しているのは、これらに似ている。それが原因で倒産や廃業に追い込まれた。

時計店で欺かれた経験

何と聞かされてはいるが調整した形跡はあまのこ。時計店の経営者としての経験から、時計店で欺かれた経験について語る。時計店の経営者としての経験から、時計店で欺かれた経験について語る。

旅館ホテル・施設・団体

アレルギー対応学ぶ

関西観光施設連盟 第1回研究会開く

関西観光施設連盟は、アレルギー対応の勉強会を開催した。参加者は、アレルギー対応の重要性や対応方法について学び、今後の対応に活かす予定だ。

「お接待の心、体験」

JTB旅木連愛媛支部など 松山で「遍路ウォーク」



参加したJTB旅木連愛媛支部員や観光関係者

JTB協定旅館ホテル 四国松山支店の主催、JTB旅木連愛媛支部とJTB中四国八十八ヶ所霊場会の協力で、松山で「遍路ウォーク」を開催した。参加者は、松山の歴史や文化を学び、遍路の楽しさを体験した。

よその旅館ホテル

「無味無臭で飲めず、赤ちゃんでも入る」。「無味無臭で飲めず、赤ちゃんでも入る」。「無味無臭で飲めず、赤ちゃんでも入る」。

世界屈指のラジウム温泉

「湯の町」のラジウム温泉は、世界屈指の温泉地として知られている。湯の町温泉は、ラジウム温泉として知られている。湯の町温泉は、ラジウム温泉として知られている。

「お接待の心、体験」

JTB協定旅館ホテル 四国松山支店の主催、JTB旅木連愛媛支部とJTB中四国八十八ヶ所霊場会の協力で、松山で「遍路ウォーク」を開催した。参加者は、松山の歴史や文化を学び、遍路の楽しさを体験した。

保険を超える価値をあなたに
LIFEPLANNER VALUE.
ソニー生命
一緒に考えよう。旅館・ホテルの未来を。エグゼクティブライフプランナー 中野秀嗣



2013 ありがとう湯沢

湯沢町の歴史や文化を学び、遍路の楽しさを体験した。湯沢町の歴史や文化を学び、遍路の楽しさを体験した。

東日本大震災復興支援「こころ音プロジェクト」
音楽で被災地を応援しよう!

JASRAC

「こころ音プロジェクト」とは
JASRACの会員・信託者(作曲家・作業者・音楽出版者)が指定した作品の著作権使用料を「こころ音基金」として東日本大震災の復興支援に役立てる取組みです。

歌って聴いて被災地を応援!
皆さんが「こころ音プロジェクト」に参加する作品を歌ったり、聴いたりされた、その著作権使用料が被災地の復興支援に充てられます。

参加作品数: 232作品
参加者数: 124名
「こころ音基金」: 30,724,521円 (2013年9月現在)

JASRAC都倉俊一(作曲家)からのメッセージ
東日本大震災で被災された方々のために、JASRACの会長として、また作曲家としてできることは何か、と真剣に考えました。そのなかで、この場限りや短期的な復興支援ではなく、私たち作曲家がJASRACから4回受け取る著作権使用料を継続的に寄付する「こころ音プロジェクト」を発案しました。皆さまにご協力いただき、音楽で被災地に元気を送りたいと思います。よろしくお願いたします。

プロジェクトの詳細と最新の参加作品はホームページをご覧ください。
復興支援 JASRAC 検索
http://www.jasrac.or.jp/kokorone/

JASRAC 一般社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC) 東京都渋谷区上原3-6-12 TEL 03-3481-2121(代表)